



八高支スクールライフ

青森県立八戸高等支援学校
発行：令和6年8月28日
第5号

様々な景色

私が、この八戸高等支援学校で気に入っていることの一つは、校舎内から見える様々な景色です。

6月、やませの影響が強い日、校舎は早朝から霧に包まれます。通勤の車中、学校に近づくにつれて濃くなる霧に、鮫駅から徒歩で登校する生徒は怖くないかな？と心配になるほどです。また、日中晴れていても、夕方になり校舎が霧に包まれることもあります。そのような日は、海から霧がやってきて、あっという間に真っ白になります。

梅雨が明けた7月8月、牧場の緑、海と空の青がまぶしくなります。C棟の奥の窓からは、その緑と青に鮫角灯台の白が加わった、絵はがきのような景色が広がります。海の青は、A棟3階の調理室からも見ることができ、三方を海に囲まれた鮫地区の地形を感じることができます。

この校舎から見える鮫から種差海岸の景色を、画家の東山魁夷は『道』という絵にし、作家の司馬遼太郎は著書『街道をゆく』で地球の美しさを教えるために一番に案内すると記しています。そんな素晴らしい景色を、毎日眺めることができ幸せです。

10月の八高支祭の写真展には、生徒の皆さんが撮影した、校舎近辺の様々な景色の写真が出品されています。今年も素敵な写真がたくさん出品されるだろうと楽しみにしています。

(研修部主任 岩岡)

産業科3年校外学習（7月2日）

職業生活を支える社会の仕組み等について学習することを目的に、午前八戸モータースクールと、JTB・眞照堂を二班に分かれて見学、質疑応答しました。午後は、ハローワーク八戸を学年全員で見学し、ハローワークの役割について説明を受けました。

利用方法や料金について説明を聞いたり、気付いた内容をメモしたりして、事後学習では学んだ内容をスライドにまとめて発表しました。

卒業後の生活を一人一人がイメージし、学校生活や家庭生活に生かす、実りの多い機会となりました。

(中村大)



水産高校との合同清掃（7月12日）

普通科職業コースでは、地域における奉仕活動として鮫地区周辺の清掃活動を行っています。この日は1年3組と4組が、八戸水産高校1学年と生徒会、鮫町内会の方々と合同で燕島周辺の清掃活動に取り組みました。

コミュニケーションをとりながらごみを拾ったり、分別したりするなど交流をしながら清掃活動に取り組み、「同年代の子と話ができて楽しかった」「ごみがたくさん落ちていて驚いた」などと感想を話していました。

今後も地域の奉仕活動に取り組んでいきます。
(高山)



トレイルウォーク（7月12日）

7月12日に職業コースのトレイルウォークがありました。連日の雨は止み、晴れ渡る空の下開催されました。途中で複数回休憩を挟みながら、全員が無事白浜海岸にたどり着くことができました。

白浜海岸では、砂のトンネル作りに夢中になる生徒や、日陰でお弁当を食べている生徒、芝生の上でフライングディスクを楽しむ生徒など、それぞれが自然を楽しむことができ、充実した1日となりました。(橋本)



参観日について

9月初めに、授業参観・保護者懇談が行われます。

学年によって実施日が異なります。「参観日のお知らせ」をご確認の上、フォームよりお申込みください。また、当日の朝に行われるPTA挨拶運動への参加についても、併せてご入力ください。よろしくお願いいたします。

おらせ

